2022.3
vol.39

中森博文レポート HAKU・AI の県政報告

発行責任者/三重県議会議員　中森博文　住所/名張市西原町２６８５-１　電話&FAX/６５－０２９８

令和４年２月24日 三重県議会定例会２月会議

「強じんな美し国（うまくに）ビジョン三重（仮称）!!」

自由民主党会派 代表質問、登壇！

去る2月24日、県議会2月定例月会議において、一見知事による三重県の長期構想「強じんな美し国ビジョン三重（仮称）」、当面する中期5か年計画「三重元気プラン（仮称）」概要案に係る初めての議会が開かれ、自由民主党会派として「代表質問」に登壇しました。

1．展望する三重の姿！

①なぜ？「強じんな美し国ビジョン三重（仮称）」を策定するのか！

質問 知事は、長期ビジョン（10年の長期構想）を策定することを判断したが、県議会も中長期的な計画に対して議決することになる。より良いビジョンにしてもらいたいと思うが、なぜビジョンを策定すると判断したのか。

知事答弁 まずは、県政の課題を整理することが重要で、ビジョンの役割。リスクにどう対応し、チャンスを逃さずに発展につなげていくかの羅針盤となる。県民の安全安心を確保して「選ばれる地域」になるにはどうすべきかを考えて策定を進めている。

②おしえて！「三重元気プラン（仮称）」の７つの挑戦！

質問 三重県の当面の5年間の計画「三重元気プラン（仮称）」で、特に注力する課題として掲げた「7つの挑戦」についてお聞きしたい。またプランに、南海トラフ「臨時情報」が出された時の準備、「多子家族」への支援策を検討してほしい。

知事答弁 ビジョンの各柱に対しプランがどうリンクするのか整理し、プランの進捗が議会にも検証ができるよう工夫する。議会からもご意見をいただきたい。

ご提案の件は、採用を検討します。

2．知りたい！県政運営の三重県知事の基本姿勢！

①どうすれば県民や職員から信頼されるか？

質問 県政は県民からの信頼で成り立つ。職員からの信頼を得ることも大事。どうすれば県民や職員に信頼されるか。

知事答弁 上意下達（トップダウン）ではなく議論をする。職員を信頼することも大事。県民には私を分かってもらうため、いろんなところで話をしたい。

②どうあれば、尊敬されるような県政運営となるのか？

質問 人は尊敬する人には耳を傾ける。「さすが知事」と思ってもらえるようにしてほしい。県政運営の基本姿勢は。

知事答弁 尊敬する人は「冬柴元国交大臣」今も難しい問題があると心の中で相談する。

3．大丈夫ですか？「コロナ克服のための医療体制」

「新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種」が進捗し、また「経口薬」、「飲み薬」の配置が進み、使用状況が安定すれば、県民にとって大きな安心材料になっていく。

4．夢を語る！「大和伊勢みち」

平成18年から、「第二名阪国道」構想を提案して以来、答弁を求めたのが5回、要望をしたことを含め今回で10回目となる。

昨年、国交省は「三重県新広域道路交通計画」を発表し、「構想路線」として「名阪バイパス」が、また「一般広域道路」でありますが「中和津道路」が位置付けられた。

県央を東西に結ぶ幹線道路、まさに「大和伊勢みち」である。

5．いよいよ！「大阪・関西万博」

令和7年（2025年）に大阪・関西万博が開催される。関西広域連合により「関西パビリオン」が設置される。

三重県は積極的に200㎡の床面積を確保し、観光・文化の魅力を提示し、全国・世界へPRするなどをコンセプトに、三重県への観光誘客や産業振興につなげていく。

「伊賀忍者」「松尾芭蕉」「江戸川乱歩」「赤目四十八滝」など伊賀地域の魅力を発信材料にと要望した。

防災・減災、国土強靱化対策!!

①国の補正予算を受け、県の道路建設の進捗！

新たな国土強靭化対策が今年からスタートし県土の公共事業はリーマンショック前の水準に回復し、「5年後の達成目標」も全国に先駆け県独自で策定した。

令和3年度補正予算含む主なインフラ（県土・農水関係）事業（抜粋）　（単位千円）

事業名	場所・箇所	令和3年度当初予算	令和3年度補正予算	実施内容
国道368号4車線化	伊賀名張拡幅	319,992	100,886	国道165号接続部の工事を進めるとともに、引き続き伊賀市内の4車線化を含め、着実に進めていきます。大内橋橋梁発注済、R6、3月供用開始
国道368号	上長瀬	21,000	42,000	R3年度旧吊り橋撤去、右岸橋台工事、R4年度左岸橋台工事、護岸工
国道368号（天王寺橋）	長瀬		50,400	橋梁耐震対策
上野名張線	蔵持町	30,825	91,140	R3橋台、道路工、R4,橋梁工、道路工
上野名張線	上神戸～新田	10,275		用地交渉
名張青山線	滝之原	21,000	16,800	道路工事、供用開始へ
上笠間八幡名張線	薦生～八幡	34,993	143,000	R3,ミニバイパス道路工、橋梁設計、R4,バイパス舗装工等
赤目滝線	赤目町	28,669	4,200	落石対策、道路拡幅
名張曽爾線	中知山	10,500		災害防除
蔵持霧生線	長瀬	5,250		災害防除
布生夏見線	神屋	5,250		災害防除
新田水路6期	新田～高尾	30,000	30,000	高密度ポリエチレン管φ700、1.5㎞
三ケ村井堰	夏見	17,000	42,000	頭首工1カ所

②川上ダム、名張かわまちづくり一体型浸水対策事業！

水資源機構が伊賀市で進めている川上ダムでは昨年12月16日から試験湛水（たんすい）がはじまり、完成まで最終段階になっている。

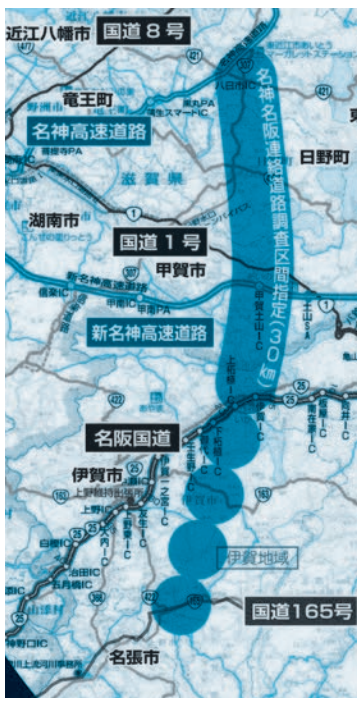
また、木津川上流河川事務所が進めている名張川河川整備では、引き提や河道掘削に併せ、名張かわまちづくり一体型の浸水対策事業が進められている。

川上ダムの完成や名張かわまちづくり一体型浸水対策事業により、期待される新たな観光資源として期待される。

③伊賀地域の道路整備の促進！

去る1月13日、名神名阪連絡道路整備促進期成同盟会による建設促進大会が開催された。

大会決議では、重要物流道路の候補路線に指定され、名阪国道から国道165号を結ぶ17㎞区間の延伸部についても構想の具体化に向けた項目が含まれている。



率先実行！

名神名阪連絡道路建設促進大会に出席 1/13（木）

去る1月13日、名神名阪連絡道整備促進期成同盟会主催の建設促進大会に出席した。名神名阪連絡道路の実現に向けた決議が採択された。

美旗まちづくり協議会主催のどんど焼きに参加 1/16（日）

去る1月16日、地元美旗まちづくり協議会が主催した「どんど」焼き行事に参加した。

三重県が進めている「引きこもり対策」の現地調査 1/28（月）

去る1月28日、引きこもり就労支援や知的障碍者就労支援に関し、地元の協力事業所を訪問し、就労支援状況など現地調査を実施した。

強じんな美し国ビジョンみえ（概要案）

はじめに
強じんな美し国ビジョンみえの趣旨

長期的な視点から令和4年度からの概ね10年先を見据えた県の長期構想です

第1章 おおむね10年先（2030年頃）の展望
第1節 国際・国内情勢
第2節 三重県を取り巻く状況
第2章 基本理念
第1節 「美し国」から発展してきた三重
自然豊かで美しい地域の三重の歴史から街道や交流が発展、地域に根付いた産業・文化や美しく豊かな自然が継承、1876年の三重県誕生から現在と今後の発展へ
第2節 新しい三重づくり
県民が笑顔で暮らせる新しい三重づくり、時代潮流や環境変化、懸念されるリスクや未来につながるチャンスに的確に対応
第3節 基本理念
「強じんで多様な魅力あふれる『美し国』」の実現
魅力ある観光資源、交通の要衝である恵まれた立地条件、三重の強みや良さを生かし「選ばれる地域」にしていく
第3章 県政運営にあたっての基本姿勢
第1節 「聴政」で進める県政
県民に耳を傾け、ニーズの把握と知恵の集積に努め、県民に成果を届ける
第2節 多様な連携により進める県政
市町、国、近隣府県や企業・団体、NPO、高等教育機関など多様な主体と連携を強化
第3節 県民の信頼により進める県政
県民に信頼される行政を実現するため、持続可能な行政運営やコンプライアンスの推進など行政改革の取組を効果的・効率的に進め、職員の士気を落とさず、県民サービスを向上していく

みえ元気プラン（概要案）

はじめに みえ元気プランの趣旨

「強じんな美し国ビジョンみえ」が掲げる基本理念「強じんで多様な魅力ある『美し国』」の実現に向けて推進する取り組み内容をまとめた、当面する5年間の中期の戦略計画です

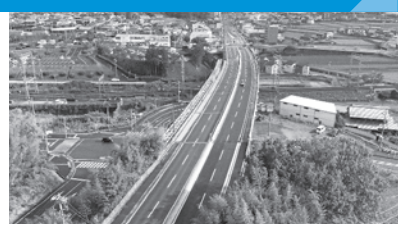
第1章 みえ元気プランでめざす三重県
・人口減少への対応 ・大規模災害への備え ・脱炭素社会の実現 ・社会のデジタル化 ・医療・介護の充実 ・次世代を担う子どもたちの育成 ・産業の振興 ・インフラ整備の推進 ・共生社会の実現
第2章 三重元気プランで進める7つの挑戦
(1)新型コロナウイルス感染症への対応
(2)大規模災害に対応した防災・減災、国土強靭化対策の加速・深化
(3)三重の魅力を活かした観光振興
(4)脱酸素化をチャンスと捉えた産業振興
(5)デジタル社会の実現に向けた取組の推進
(6)次世代を担う子ども・若者への支援の充実
(7)人口減少への総合的な対応
第3章 政策体系とは
政策体系は、「強じんな美し国ビジョンみえ」で示す基本理念を実現するために、県が行う取り組みを目的と手段の関係を整理したもの
≪政策展開の基本方針≫ー≪政策≫ー≪施策≫ー≪基本事業≫ー≪事務事業≫
第4章 政策・施策の概要
基本理念の実現に向けて、15の≪政策≫、52の≪施策≫を位置づけ県政を推進

「強じんな美し国ビジョンみえ（仮称）概要案」および「みえ元気プラン（仮称）概要案」に対するご意見を募集します!!

◎意見の募集期間 令和4年3月3日（木曜日）から令和4年4月4日（月曜日）まで
◎意見の提出方法
(1)郵送の場合 〒514-8570 三重県津市広明町13番地 三重県戦略企画部企画課あて
(2)FAXの場合 059-224-2069
(3)電子メールの場合 kikakuk@pref.mie.lg.jp
※詳しくは、三重県ホームページ（https://www.pref.mie.lg.jp）にて

代表質問の締めの一句は、「One for all 不易流行 All for one」でした。
（解説：知事におかれましては、すべての県民のために、芭蕉のいう「不易流行」の考えをお持ちいただき、県民みんなで一つの目的のため、信頼される県政運営を進めていただきたい！）
※不易流行：いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものを取り入れていくこと。

国道368号4車線化 八幡工業団地交差点まで延長!



国道368号4車線化の名張市工区は、10月22日に供用を延長されました。

上笠間八幡名張線!

埋蔵文化財の調査を終了し、バイパス工事を進めながら、橋梁の設計、地質調査に入ります。

県立上野高等学校明治校舎耐震改修工事!

明治校舎の耐震補強、基礎補強、屋根瓦の軽量化葺替、正門の耐震補強、外装、LED化の工事が進められています。

三重県議会「農林水産高校を応援する会」政務調査

昨年補足した「農林水産高校を応援する会」副会長に就任し、四日市農芸高校を視察し、実習設備の実態調査や生徒たちの学びや進路などについて、意見交換をした。
写真は、同僚議員とともに実習状況の現地調査の様子です。

県立学校長寿命化改修計画（トイレの洋式化を含む）!

伊賀管内の県立学校の長寿命化改修計画が発表され、令和4年度から、伊賀管内６校のトイレの洋式化をはじめ順次改修が進められます。

R4	上野高校
R5	名張高校、伊賀白鳳高校
R6	あけぼの高校、名張青峰高校 伊賀つばさ学園

誠心誠意

三重県議会議員 **中森 博文**

第39回目の県政報告をさせていただきます。
今回は、新知事として、策定中の中長期の計画の内容や知事の信頼される県政運営について、記載させていただきました。
1月に予定しておりましたアスピアでの「県政報告会」はコロナ感染症拡大により延期させていただきました。
さて、このたび亀井利克氏が勇退されることとなりました。これまでのご功績は言うまでもなく、市民の皆様をはじめ県内外からも高い評価を承り、名張選出県議として誇りに感じております。
一方私事ですが、名張市政に戻ってほしいとのあたたかいお言葉や期待のお声をいただいてまいりました。これまで5期19年間、私は県政一筋、ぶれることなく、今日まで名張市選挙区からの県議会議員として、与えられた職責を真摯に受け止め、あらゆる出来ることを、県議会議員の立場から名張市市勢発展のため誠心誠意努めてまいりました。
日々県政課題が山積している中、いま県議会議員として果たす役割と責任を十分踏まえ、引き続き県政の場で取り組んでまいる所存であります。ご理解賜りますようお願い申し上げます。
気候の変わり目です。どうぞみなさまご自愛ください。

県民の声

届けようあなたの声を!

広聴・広報委員会

声 「三重県議会議員報酬」について知りたいのですが?

答 三重県議会議員報酬については、厳しい三重県財政の下、議会経費削減の観点から、令和元年5月に条例改正し、議員報酬83万円から10％（83,000円）削減し、74万7千円となっています。さらに、政務活動費は30％（99,000円）を削減しています。

インターネットで本議会や委員会の中継を配信し、みえ県議会だよりにおいて「届けようあなたの声を県議会」と銘打って広聴に取り組んでいます。

まちとつながるメッセージ

QRコードをスキャンすれば、活動報告が見られます。

【QRコード】

ご意見をお寄せ下さい
中森博文事務所
TEL・FAX 65-0298
Email●hirofumi@nava21.ne.jp
http://www.e-net.or.jp/user/nakamori